

「第三次プノンペン市洪水防御・排水改善計画」機材引渡式

11月7日（水）、プノンペン市庁において、同市主催の「第三次プノンペン市洪水防御・排水改善計画」の機材引渡式が行われました。本計画は、プノンペン市の洪水危険地区の排水設備の改善を行う事業で、2002年及び2007年に無償協力で実施された第一次及び第二次に引き続いて行われるものです。今回は、プノンペン市南東部における8地区の排水設備の改善が対象となります。これらの排水設備が正常に機能するためには、普段の維持管理が欠かせないことから、維持管理に必要な機材供与や機材の活用に関する技術移転も併せて行います。今回引き渡される機材は、高圧洗浄車2台と汚泥吸引車2台の合計4台です。

同式典には、ケプ・チュ・テマ プノンペン市長をはじめ、約100名が参加しました。黒木大使はスピーチの中で、「本計画の一部である機材を引き渡すことができ、うれしく思う。このプロジェクトを通じて、クリーンな都市としてのイメージを促進することにより、より多くの訪問者と投資を誘致することを願っている。」と述べました。続いて、ケプ・チュ・テマ市長からは「カンボジアの首都プノンペンに多大な無償援助をいただき、日本の人々と日本国政府に大変感謝している。本計画により都市生活環境が改善されることは、プノンペン首都の持続的発展につながっている。」とお礼の言葉が述べられました。その後、黒木大使よりケプ・チュ・テマ市長に対し、重機の鍵が引き渡され、和やかな雰囲気のもとに式典が終了しました。



写真-1 黒木大使のスピーチ



写真-2 鍵の引き渡し



現状（作業効率や安全性が低い）



今後（作業効率と安全性が高い）